

教科	家庭	科目	生活教養	単位数	2 単位	学年	3 年	コース	L生活教養
使用教科書	なし			使用副教材等	楽しく学べるマナーの基本				

目標	お互いが規制を守ることによって円滑な社会生活が成り立つことを理解し、周りを尊重しながら家庭や地域社会の一員としての自覚を持った行動とれるようになる。また、日常生活における基本的な教養を学び、触れる機会が減ってきている日本の伝統文化に親しむことで生活を豊かにしていこうとする実践的な態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・日常生活・社会生活を快適に過ごすためのマナーについて理解する。 ・教養を学び、TPOに応じた対応を身に付ける。	・他者との円滑な人間関係を築くためのふるまいについて思考・判断し、表現する。 ・身に付けた教養を活かし、自身の生活を豊かにする方法について考え、工夫する。	・課題に真摯に取り組もうとしている。 ・自らの生活や、社会生活の充実向上を図るための実践をしている。
評価方法	①日常生活・社会生活を快適に過ごすためのマナーについて理解している。 ②TPOを理解し、それに応じた行動を技能を身に付けている。	③円滑な人間関係を築くためのふるまいについて思考・判断し表現することができる。 ④身に付けた教養を活かし、自身の生活を豊かにする方法について考え、工夫している。	⑤課題に真摯に取り組む態度が見られる。 ⑥自らの生活や、社会生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

担当者からのメッセージ	マナーとは思いやりを形にして表現することである。この授業での学びを通して、日常生活の中で自然な行動としてマナーが守れ、他者との良好な関係を築けるようになってほしい。年中行事について学び、茶道や華道、管弦楽などについては外部講師として専門家に指導していただくことで日本の伝統文化の歴史や素晴らしさを認識する。習得した技術を自らの生活に取り入れることで、心豊かに生きる実践的な態度を養ってもらいたい。
-------------	--

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1 学期		第1章 好感度アップのポイント 身だしなみの基本、美しい立ち振る舞い、敬語の使い方、挨拶のマナー ・相手を敬う気持ちを適切な言葉使いで表現することが大切なことを理解する ・一つひとつの気遣いが美しい立ち振る舞いとなり相手が受ける印象が変わることを知り、日常的に丁寧な所作ができる	評価方法②【行動観察】
	4	第2章 外出先でのマナー 電車でのマナー、訪問とおもてなしのマナー 洋室・和室でのマナー、退出時のマナー、お茶・お菓子の出し方 ・どのような場所においても気遣いや思いやりがあれば互いに気持ちよく過ごすことができること、またマナーを守らないことで相手に不快な思いをさせたりトラブルに発展することを理解し行動することができる	評価方法②【実技の状況】
	5		評価方法③【発表・話し合い活動】
	6	第3章 食事のマナー 箸使いの基本、日本料理、洋食、中国料理について、和食・お茶・お菓子のいただき方、食事のマナー違反 ・自国の食文化や食事を通して、伝承されてきたマナーや他国のテーブルマナーを習得し、改まった食事の場での適切な振る舞いができる ・食事を楽しみながらコミュニケーションを深め、円滑な人間関係を築けるようになる	評価方法②【実技の状況】
	7		評価方法④【レポート】
			評価方法①【定期考査】
		第4章 書き方のマナー 手紙・封筒・はがきの書き方、時候の挨拶、年賀状・暑中見舞い等の書き方、招待状の返信・ビジネス文書の書き方 ・様々な通信手段が発展し、手紙を書く機会は減ってきているが書き方のマナーの基本を学ぶ	評価方法②【実技の状況】 評価方法③【発表・話し合い活動】 評価方法④【レポート】
			評価方法①【定期考査】

2 学 期		第5章 人生の節目のしきたり 贈り物のマナー、慶弔のマナー、場に合った服装の整え方、節目のお祝い ・慶事・弔事には、守らなければならない伝統的なしきたりがあることを理解する ・社会生活で無礼とならないよう、しきたりやマナーについて理解を深める	評価方法②【実技・実習の状況】	
	9	第6章 社会人のマナー 履歴書の書き方、面接練習、電話応対、来客対応とお茶の出し方 ・社会では年齢や価値観、考え方の違う様々な人々と協力しながら、円滑に仕事を進めていくために、社会人となることの意味を考え、生きていくために必要となる基本的なビジネスマナーを身に付ける	評価方法③【実習の状況】 評価方法⑥【ワークシート】	
	10	第7章 日本の年中行事 日本の伝統文化 お琴教室 ・茶道教室【外部講師】 ・日本に根差した生活習慣や行事の意味、由来を知る ・日本の伝統文化に触れる	評価方法②【行動観察】 評価方法⑤【実技の状況】	評価方法①【定期考査】
	11	日本の伝統文化 華道教室【外部講師】 ・日本の伝統文化に触れる ・刺し子に取り組み、日常生活を豊かにする小物づくりができる	評価方法②【行動観察】 評価方法⑤【実技の状況】	評価方法②【定期考査（実技）】
3 学 期	1	発展内容（編み物、刺繍、ミシン作成） 学んだことを発展させ、自身の生活を豊かに工夫しようとする態度を身に付ける	評価方法④【実技の状況】 評価方法⑥【作品提出】	評価方法②【定期考査（実技）】